

「年金難民」になりたくない！

— 今なぜ30代・40代に『海外積立投資』が求められるのか？ —

アブラハム・プライベートバンク株式会社

関東財務局長（金商）第532号投資助言業

「年金難民」になりたくない！ — 今なぜ『海外積立』が求められるのか？ —

『年金難民』になりたくない！ 老後の不安が急増中。 その解決策とは？

いま、老後が不安なため、貯蓄をする人が増えています。

一方で、老後ゆとりのある生活を夫婦二人で送るには、**1億円が必要**だと言われています。
これは、貯蓄だけでは賄いきれません。

特に、年金が「逆ザヤ」になると言われている30~40代にとっては、より深刻な問題です。
「年金難民」になる恐れがあります。いま、**国民の8割が「年金に不安」**を感じています。



国の年金未払リスク

国家破綻リスク



企業年金も・・・



老後難民

「年金難民」になりたくない！ — 今なぜ『海外積立投資』が求められるのか？ —

目次

①なぜ「年金難民」なのか？

- 老後が不安。皆が取っている対策とは？
- そもそも、老後にいくら必要なのか？
- 実際に、1億円貯められるのか？

②なぜ「海外」投資なのか？

- 海外には、日本よりも良い金融商品がある

③なぜ「積立」投資なのか？

- 積立投資なら、月5万円で1億円を目指せる
- 国内・海外の主要積立商品の比較（富士経済）

④なぜ、「今」なのか？

- 法改正の結果、「個人の海外投資」が解禁
- 複利を狙うなら早く始めた方が得

⑤「海外積立投資」の始め方

- 投資助言会社の選び方
- 積立金額の決め方
- 積立を続けれる工夫

①なぜ「年金難民」なのか？ - 老後が不安。皆が取っている対策とは？

■老後が不安 8割

老後の生活について『心配である』（「非常に心配である」と「多少心配である」の合計）と答えた世帯は、**約8割**となった。『心配である』としている世帯では、その理由について「**年金や保険が十分ではないから**」が**7割強**、「**十分な金融資産がないから**」が**約7割**となっている。

- 「家計の金融行動に関する世論調査」[二人以上世帯調査]金融広報中央委員会/H23
<http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/yoron2011fut/pdf/yoronf11.pdf>

■老後に備えてしていること1位「貯金」

老後に不安なことは「**お金**」に尽きる（**8割超**）。

老後に備えて現時点でしていることでは、トップが「**貯金**」で59.7%。次いで「医療保険や入院保険、終身保険など自分のためになる保険商品の購入」（38.8%）

- 日経産業地域研究所/H24
http://www.nikkei.com/article/DGXNASDN18005_Y2A410C1000000/?df=2

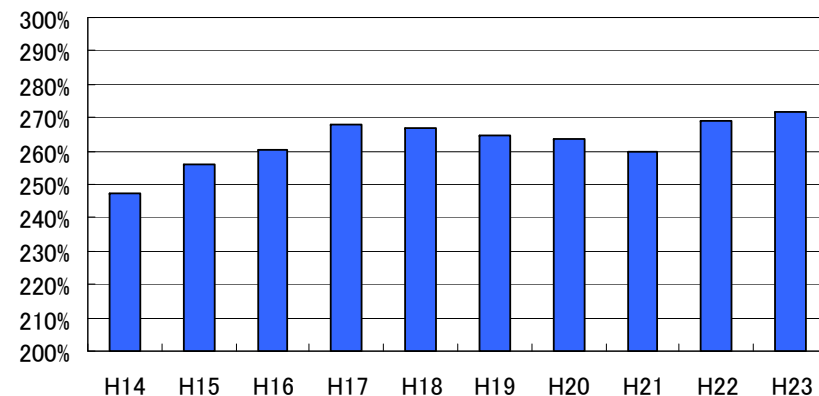
■収入減にも関わらず、貯蓄が増えている

貯蓄現在高は1664万円で、前年に比べ0.4%の増加となった。一方、年間収入は612万円で前年に比べ0.6%減少。

貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、前年に比べ2.9ポイント上昇し271.9%となった。これは、**過去10年間で最高**。（図1 平成23年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり）

- 「家計調査」総務省/H23
http://www.stat.go.jp/data/sav/sokuhou/nen/pdf/h23_gai2.pdf

図1 貯蓄年収比



老後の対策は「貯金」！？

では、一体いくら貯めれば良いのでしょうか？

①なぜ「年金難民」なのか？ - そもそも、老後にいくら必要なのか？

■老後に1億円必要

ゆとりある老後生活を送るための費用として、月額平均**36.6万円**が必要と言われている。
夫婦2人で老後を過ごす期間を25年間（60歳から85歳まで＝25年）とすると、
 $36.6万円 \times 12ヶ月 \times 25年 = 1億980万円$ 必要。

- 「生活保障に関する調査」生命保険文化センター/H22
<http://www.jili.or.jp/lifeplan/lifesecurity/oldage/7.html>

■年金には頼れない？ 日本の年金制度の課題

① 到底無理な想定利回りの「安心プラン」

2004年の年金制度改革で打ち出した「100年安心プラン」。想定を超える少子高齢化やリーマンショックを受け、2009年には市況悪化にも関わらず、想定運用利回りを4.1%に修正。2008年度の財政再計算では、2021年度以降の物価上昇率を1.0%、賃金上昇率2.5%、運用利回り4.1%。つまり、物価上昇率を差し引いた実質運用利回りを3.1%と想定。

② 現状の給付を続けていけば、年金財源が枯渇することは明らか

毎年約6兆円の積立金を取り崩しているため、2030年代には積立金が枯渇するという試算もある（学習院大・鈴木巨教授）。

③ 企業年金も頼れない

厚生年金基金制度は廃止する方針で決定（2012年9月28日 厚生労働省）。

③ 世代間の不公平「逆ザヤ」問題

1940年生まれの人は3,000万円の受け取り得なのに、2010年生まれの人は2,000万円以上も払い損。

若い人ほど深刻。

国の年金や企業の退職金等に頼れないとすると、自力で1億円貯める必要があります。



①なぜ「年金難民」なのか？

- 実際に、1億円貯められるのでしょうか？

■預金利率は？

メガバンクの定期預金金利は横並びの**0.025%**～、10年満期でも0.100%。ネット専業銀行はメガバンクよりは金利が高いとはいえ、最高でも0.3%程度。さらに、預金金利は低金利下の中でも、まだ引き下げられる傾向にある。

しかも、**ペイオフ**によって1,000万円以上の保証はなし。

■国内の金融商品は？

直近5年におけるリターンの上位ファンドを見ても**5年で5%を超えるのは2つしかない**（図3 2011年12月9日/モーニングスター ファンドランキング）。

■貯蓄だけでは足りない

年齢が高くなるに従って、貯蓄額も多くなるが、それでも60歳以上の世帯の貯蓄超過額（負債を除いた純貯蓄額）は、**2,160万円（世帯）**でしかない。（図2 世代別貯蓄現在高）

- 「家計調査」総務省/H23

http://www.stat.go.jp/data/sav/sokuhou/nen/pdf/h23_gai2.pdf

預貯金・国内の金融商品では1億円には程遠い…

「年金難民」になるリスクが高いのが現実です。

図2 世代別貯蓄現在高

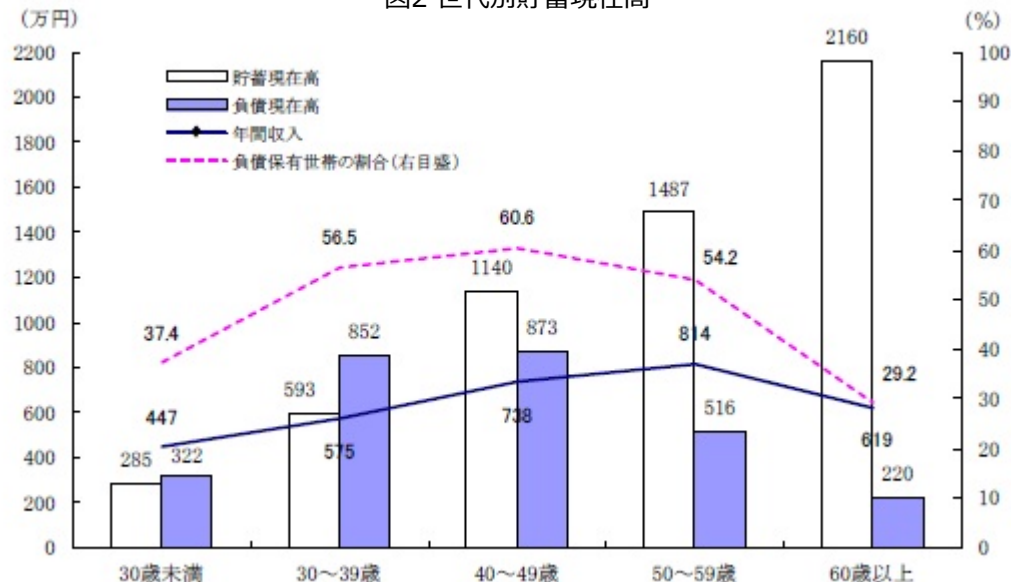


図3 国内投資信託の成績

リターン > 全ファンド > 5年間

[データ日付] 2011/11/30

チェックした投資信託を(※5つまで選択可) [比較する](#)

順位	ファンド名	会社名	カテゴリー	リターン (5年) (年率)	純資産額 (百万円)	比較
1	(オーロラF) タイ投資F	野村	国際株式・エマージング・単一国(H)	10.31%	7,736	<input type="checkbox"/>
2	(日本トレンドS) リバース・トレンド	日興	株式ベア型	7.72%	1,412	<input type="checkbox"/>
3	AB・グローバル・ハイ・インカムB『愛称: NK・コンパス(羅針盤)』	アライアンス	国際債券・グローバル・含む日本(H)	4.78%	3,324	<input type="checkbox"/>

②では、なぜ「海外」投資なのか？ - 海外には、日本よりも良い金融商品がある

①海外には高パフォーマンスの金融商品がある

日本で販売している金融商品は、世界全体の中の3%に過ぎない。
海外には魅力的な金融商品が存在している。

例えば右図なら、**上位25位までで、5年リターンが全て16%超え**。
(図4 2011年12月9日/Financial Times Fund Screener)。

図4 海外金融商品の成績

Share class name	TER	YTD perf	1yr perf	3yr perf	5yr perf ann
ETFS Gold Bullion Securities ETC	+0.40%	+22.78%	+24.45%	+27.38%	+27.00%
ETFS Gold ETC	+0.49%	+20.82%	+23.14%	+25.58%	+25.02%
ETFS Precious Metals DJ-UBSICI ETC	+0.49%	+16.47%	+21.28%	+30.76%	+24.70%
Fidelity Indonesia A-USD	+2.07%	-1.36%	+2.06%	+56.79%	+24.00%
ETFS Silver ETC	+0.49%	+4.16%	+13.53%	+43.65%	+21.43%
Allianz RCM Indonesia A	+2.24%	-5.08%	-0.73%	+56.77%	+19.84%
Fidelity Thailand A-USD	+2.00%	+1.29%	+2.02%	+46.25%	+19.39%
HSBC GIF Brazil Bond A Acc	+1.35%	+3.07%	+7.04%	+18.98%	+18.60%
HSBC GIF Brazil Bond A Inc	+1.35%	+3.06%	+7.03%	+18.96%	+18.59%
Pictet-Global Emerging Debt-HI CHF	+0.89%	+7.63%	+13.80%	+27.74%	+18.40%
HSBC GIF Brazil Bond E Acc	+1.64%	+2.78%	+6.71%	+18.60%	+18.24%
OCCO Eastern European Fund	-	+4.38%	+4.71%	+19.66%	+18.06%
Fidelity Malaysia A-USD	+2.00%	-3.20%	+3.66%	+26.21%	+18.02%
UBS (Lux) BF AUD P-acc	+0.95%	+10.31%	+17.01%	+22.79%	+17.90%
UBS (Lux) BF AUD P-dist	+0.95%	+10.31%	+17.01%	+22.79%	+17.90%
Pictet-Global Emerging Debt-HP CHF	+1.48%	+7.06%	+13.14%	+26.96%	+17.71%
LO Funds World Gold Expertise USD P D	+2.22%	-11.80%	-7.99%	+45.03%	+17.65%
LO Funds World Gold Expertise USD P A	+2.22%	-11.79%	-7.99%	+45.03%	+17.64%
Investec GSF Gbl Gold S Inc Grs USD	+0.08%	-9.36%	-5.22%	+35.79%	+17.38%
Allianz RCM Thailand IT	+1.34%	-5.03%	-4.55%	+51.35%	+17.18%
Aberdeen Global II AUD Bond A2	-	+10.85%	+17.78%	+21.94%	+17.14%
PIMCO GIS Global Bond Ins NZD Hdg Inc	+0.66%	+6.96%	+11.14%	+28.80%	+17.13%
Federated High Income Adv EUR IS	+1.00%	+3.10%	+7.45%	+26.49%	+17.08%
First State China Growth I Acc	+2.14%	-14.20%	-15.25%	+27.21%	+17.04%
ZI UBS Australian Bond	-	+9.69%	+16.69%	+21.91%	+16.95%

※海外は、運用者が違う

運用者への成果報酬体系、評価など、日本の人材レベルも海外と比べると環境が違う
(日本は護送船団方式だったため、金融自由化が30年後れた)

※アセットクラス (投資対象) の違い

アセットクラスによって、リスク・リターンは異なる。

それに加えて、個別ファンドは**絶対リターン**を求めて、各アセットクラスのインデックスを上回るようしのぎを削っている。

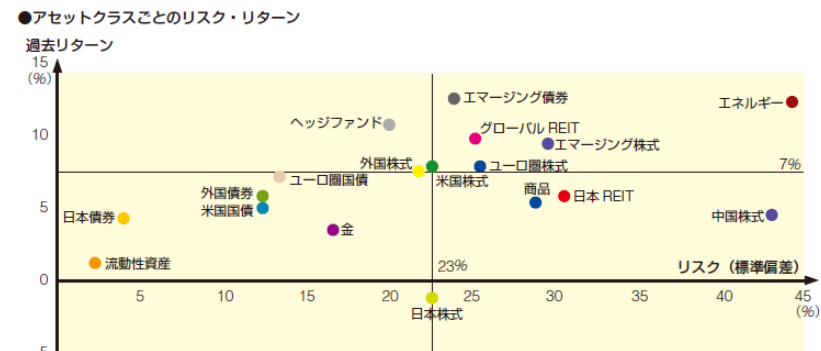
②日本より安心！もっと格付けが高い国へマネーが集中

日本国より格付けの高いオフショア地域マン島 (AA+)。
もし運用会社が破綻しても、マン島政府が資産の**90%を保証**してくれる。

③複利効果を得られる

海外運用なら、運用途中の利益に課税されない。
国内金融機関で積立をすると毎年課税されるため、
複利メリットが得られない。

図5 アセットクラスごとのリスク・リターン



※インデックスを使用し月次リターンを用いた Rolling リターンで計算。年率平均
※データ期間：1990年1月～2009年9月。ただし、中国株式は1993年1月から、ユーロ圏株式とエマーシング株式は1988年1月から、米国債券は1985年1月から、エマーシング債券は1994年1月から、ユーロ圏債券は1999年1月から、日本REITは2003年4月から、グローバルREITは1989年7月から、ヘッジファンドは1994年1月から、エネルギーは1991年1月からのデータ。
出所およびデータの著作権：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン

③では、なぜ「積立」投資なのか？ - 積立投資なら、月5万円で1億円を目指せる

毎月5万円、年率10%で30年間複利で運用すると、1億857万円になる。

■積立投資のメリット

①「ドルコスト平均法」

毎月一定額を機械的に買い付けることで、買い付けコストが安く仕込める。

②売買タイミングで悩まなくて良い

ドルコスト平均法なら、相場で悩まず、いつでも始められる。

③資産形成層でも、今すぐ始められる。

まとまった資金がなくても、毎月の定期収入があれば始められる。

<http://media.yucasee.jp/offshore-news/posts/index/144>

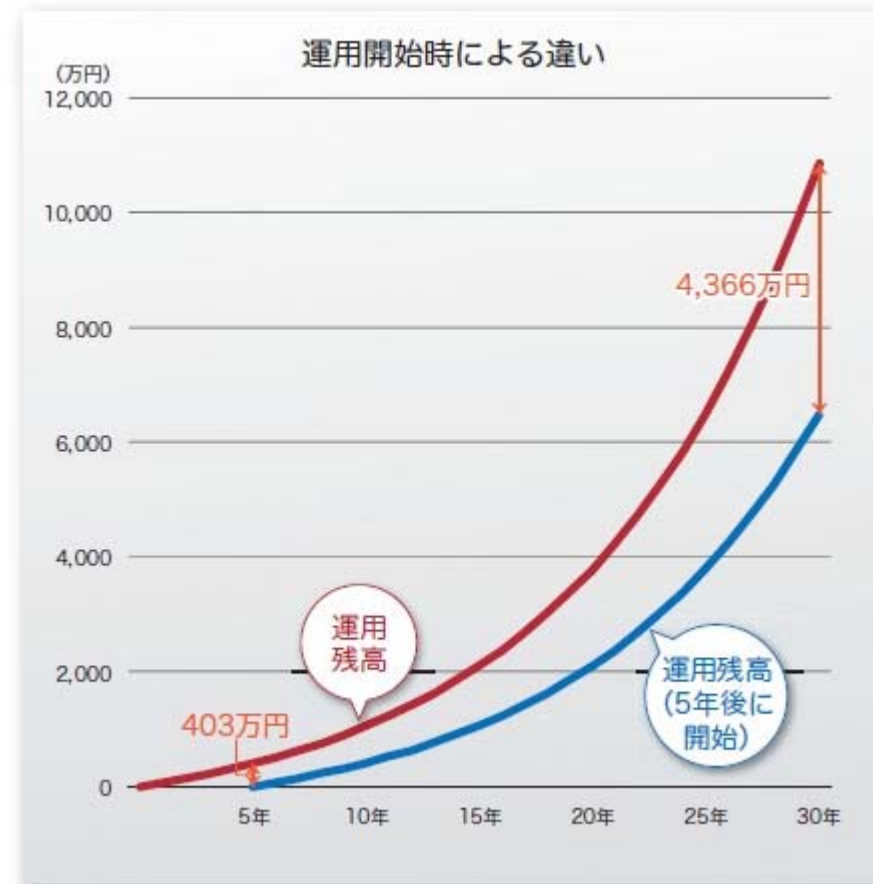
※ 複利の効果①

毎月5万円、年率10%で25年間、複利で運用すると6,491万円。同条件で30年間運用すると、1億857万円。**5年で4,366万円も違ってしまふ。**

※ 複利の効果② (前頁既出)

税務上の有利さ。国内積立では、スイッチング（投資銘柄入れ替え）のたびに売却益に対して10%（所得税7%、住民税3%）、決算期には分配金に対して同率が課税されるが、海外積立なら課税されず、その分多くの金額を再投資して複利で回し続けることができる。

図6



③ではなぜ「積立」投資なのか？ - 国内と海外の主要積立商品の比較 (出所：富士経済)

■人気商品徹底比較

個人投資家に人気の6商品を「パフォーマンス（コスト控除後リターン）」「格付け」「最低投資単価」を軸に比較した。

投信型商品は、積立プログラム（証券会社、投信運用会社）という仕組みと、その仕組みを通じて毎月の積立投資対象にするファンド（日本株ファンド、海外ファンド、インデックスファンド）という二段構成になっている。従い、パフォーマンス評価は、各種ファンド及び積立プログラム利用料等のすべてのコストを控除後で一番リターンがよい個別ファンドを抽出して比較した。尚、安定度を重視してシャープレシオが0.75以上のファンドに限定した。

図7 国内外積立商品の比較

	いつかはゆかし	セゾン投信	SBI証券	さわかみ投信	楽天証券	野村証券
	(海外積立プログラムを通じて購入可能なFund)	「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」	「ビムコ・エマージング・ボンド・オープンAコース」	「つみたてのチカラ」	「フィデリティ・ハイ・イールド・ボンドBコース」	「ゴールドマン・サックス・世界債券オープンAコース」
パフォーマンス(コスト控除後リターン・5年下落率年率)(注)	15.34%	(-)5.41%	7.41%	(-)12.24%	7.61%	3.59%
積立プログラム提供者格付け	AA+(マン島=H社の拠点)	A+(クレディ・セゾン)	BBB(SBIホールディングス)	(NR)	BBB+(楽天)	A+(野村ホールディングス)
最低投資単価(月間)	5万円	5,000円	500円	1万円	1,000円	1万円

(注)：積立投資は長期投資が前提。積立対象ファンドのネット利回り（5年平均リターン）から「30年間の積立プログラム利用料/年換算」を控除した、最終的な利回りで比較

- ① **もっとも重要なのは「パフォーマンス」**。積立期間が30年に及ぶため、パフォーマンスの違いは、結果的に大きな積立投資残高の違いにつながる。
- ② 次に**格付け**。積立プログラム提供会社の格付けを比較すると、金融機関の破綻時の保有時価総額の90%を保証するマン島に籍を置く海外積立プログラム提供会社が一番格付けが高いことになる。
- ③ 最後に、最低投資額が低いのは、単に敷居を下げていただけで、積立商品の優劣における本質ではない。

比較の結果、**海外積立支援サービス「いつかはゆかし」が、もっともコストパフォーマンスに優れる**と言える。なお、当該商品に限らず、海外積立投資は複利運用なので、積み立てに関する税務上の有利さがあり、長期投資の場合、この違いは結果的に大きな違いになる（出典：富士経済調べ）

④なぜ、「今」なのか？

1998年に外為法改正、やっと個人が海外投資可能に。
しかし海外ファンドの最低投資単価は1億円以上だった。

2007年に金融商品取引法、やっと投資助言免許でサポート可能に。
結果、海外投資ブーム到来。

- 日経ビジネス2012年2月13日「日本を見限り個人マネー」
- ダイヤモンドザイ2012年2月「海外ヘッジファンドは直接買える」
- 日経ヴェリタス2012年2月19日「オフショアファンドに直接投資」

さらに、複利効果を得るには**早く始めた方が良い**。仮に話半分でも年利5%で30年間なら5,000万円は貯められるので、やらない方が損。何もしないことが**リスク**になる。

※想定されるリスクの例

①増税

今後高齢化に伴い家計部門の貯蓄率が減少する中で、経常収支の赤字化が進行すると、一般政府の赤字を支えきれなくなるおそれがある（経済産業省 産業構造審議会「経済社会ビジョン」）。

②インフレ

世界的な超金融緩和によって蓄積する過剰流動性が、新たなインフレの火種になる可能性（経済産業省「高まるインフレのリスク」）。

<http://www.meti.go.jp/report/tsumaku2006/2006honbun/html/i1112000.html>

日銀による国債直接引き受けが将来的なインフレを招く恐れ（福田慎一・東京大学大学院教授）

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPJAPAN-22228020110715>

③銀行破綻

ペイオフが発動された場合、守られるのは1,000万円だけ。日本の銀行の格付は高くない（S&Pの格付;三菱UFJFG、三井住友FG、みずほFGのいずれもA）

<http://media.yucasee.jp/offshore-news/posts/index/134>

④長生き

2011年の日本人の平均寿命は女性85.90歳、男性79.44歳。試算では、11年に生まれた子どもが75歳まで生きる割合は女性85.9%、男性71.9%。90歳までは女性45.4%、男性21.3%（厚生労働省）。2055年には男性83.67年、女性90.34年に達すると推計されている（国立社会保障・人口問題研究所の将来推計：2006年公表、死亡中位仮定）。

<http://www.ipss.go.jp/index.asp>

⑤ 「年金難民」を避ける方法 = 「海外積立投資」 の始め方

① 海外積立は、日本の証券会社や銀行からはできないが・・・

→ 日本の投資助言会社に相談すればよい。優良な「海外積立支援サービス」を提供している会社も。

② よい「投資助言会社」の見分け方

1. 金融庁に投資助言免許の登録がある（無登録業者に注意）
2. 海外ファンドの固有名詞を、不特定多数に出さない（個別金融商品の勧誘は不可）
3. “無料”でサービスしない（入会金・助言料を取り、投資助言契約の事前締結が必須 = 助言業としての実体）

上記3つを満たさない会社は、行政処分を受けています（無登録業者、無料ファンド紹介者、無料アドバイザー等）

金融庁の警告：<http://www.fsa.go.jp/ordinary/kanyu/20090731.html>

行政処分例：http://www.fsa.go.jp/sesc/news/c_2011/2011/20110930-1.htm

4. 専門性があること。海外運用会社との直接のパイプがあり情報が豊富なこと（日本で数社のみ）

5. 組織基盤がある（コンプライアンス、サポート体制。社員1人～2人の業者からトラブルも多数報告）

③ 無理のない積立額・期間ではじめること

※積立額・期間の目安

世帯年収430万円以上：毎月5万円、世帯年収500万円以上：毎月10万円

30年間が一般的。ただし、75歳までの設定なので、46歳以上の方は「75－年齢」が最適な期間。

③ 海外積立投資を“続けられる”工夫をすること

1. 「友人」と一緒にやる（長期のマラソン）
2. 投資助言会社のアドバイザーと一緒にやる（セコンド、ペースメーカー）
3. 円建てでやる（外貨建て資産を買う場合も、毎月の積立通貨は『円』が安全；給料が円だから）
4. 合法的な「海外積立プログラム」を選ぶ（中には日本居住者が加入できないプログラムも）
5. クレジットカードで自動で引き落とす（手間をかけない。相場を気にしない。ドルコストに徹する）

企業名	アブラハム・プライベートバンク株式会社
登録年月日登録番号 加入団体	平成19年9月30日 関東財務局長(金商)第532号投資助言業 社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号011-01344
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコービル5F TEL:03-5776-7060 FAX:03-3438-4052
株主	アブラハム・グループ・ホールディングス株式会社(100%) 創業 2004年8月17日 2005年8月1日営業開始 資本金及び資本準備金 5億1,000万円 主要株主 東京海上日動火災保険株式会社、株式会社ジャフコ
URL	http://www.abraham-bank.com/
役員ご紹介	<p>ファウンダー 兼 代表取締役社長 高岡 壮一郎 1974年生。東京大学卒業後、三井物産株式会社を経て、アブラハム・グループを起業。日本最大の富裕層向けプライベートクラブYUCASEE(ゆかし)及び、ヘッジファンド等、海外投資に強みを持つ投資助言会社アブラハム・プライベートバンク株式会社(関東財務局金商532号)を経営 著書:「富裕層はなぜ、YUCASEE(ゆかし)に入るのか」(幻冬舎)</p> <p>取締役 高岡 大二郎 みずほ銀行を経て、当社入社後、役員就任</p> <p>取締役 池田 慈生 アクセンチュア株式会社戦略グループを経て、同社創業役員</p> <p>取締役 玉置 浩伸 東京大学卒業後ハーバードMBA、三井物産株式会社、GDOを経て、同社取締役に就任</p>